BBB-TBBB-TBBB-TBBB-TBBBB-TBBBB-

須賀川市立西袋第二小学校 平成 2 3 年 6 月 9 日 校長 www.nishibukuro2-e.fks.ed.ip/ E-mail:school@nishibukuro2-e.fks.ed

りそい 目分自身かも知れない ちばん見えてきたの の ままで見えな 中

かっ

やがて 闇に目がな私が聞こうとしなる 電気のついていない闇の中でな何かを見ようとする自分がいた さまざまなものが見えてくる 聞こえてくる 闇に目がなれ しなかっ たの てく たか

めて訪れたような闇 も消して を澄ます自分が チを切っ の

すると 自然と耳

それまで気づ

ゕ

なかっ

た

のスイッ

たし



学校や家庭で課題を抱える子ども達の多くが、「認めて欲しい!」「自分の方を向いてほしい!」 と思っています。子ども達には子ども達なりのプライドもあり、直接的な言葉は受け入れにくい面も あります。そういう点では、人づてに伝わる評価は大いに心をくすぐります。「自分を認めてくれて いる。あんなことぐらいで・・・・・」が大切なのです。どんな場面のどんな事実であれ、子どもにとっ ての進歩はきちんと評価し、認めてあげる。子ども達が伸びていくためのベースを1つでも多く増や してやることだと思います。ですから、子ども達を見つめる時には、先入観を排し、その場の言動を 対象とすることが大切になります。前後のことを含めてしまうとせっかくの言葉も台無しになってし まい、説教調になることが往々にしてあるからです。

も た

学校では、ほめることで1つの好意が一般化していくことがあります。「車を止めたとき『ありが とう!』と頭を下げてくれた子がいてうれしかった。すがすがしい気持ちになりました。」と電話を いただきました。廊下を歩いていると、子ども達はいろんな話をしていきます。話の中でこの話題を 出すと「それ僕だ!」と本人が偶然居合わせたりします。周りの子がいる中でほめると、「私も今度 がんばってみる。」と言いはじめます。よいと思えることはすぐに取り入れる。子ども達の純粋です ばらしい一面でもあります。やがて「自分の取るべき行動」として心の中に蓄えられ、1つずつ子ど も達の中に蓄えられ、子ども達の中で日常化し、自然な行動につながっていきます。子ども達の現状 や発達段階に応じて言葉を送るには、チャンスを逃さず、ありのままに表現することが大切であるこ とを教えられました。

● ● 学校プールの使用について

市教育委員会より通知が入り、「今年度の学校プールの使用は中止」となりました。中止の理由と しましたのは、次の3点の理由から総合的に判断したそうです。 原発事故以後の学校プール使用に 関する国の基準が示されていない。 学校プール施設の被災状況の点検や修繕に相当の時間を要する。 学校プール使用全般に対する保護者の不安を払拭することが困難である。

なお、学習指導要領に示されています「水遊びや水泳の健康・安全の心得」につきましては、各学 年で今年度指導を行います。また、「水泳」の指導に当てる時数につきましては、体力テストで本校 の子ども達の実態から指導の必要な単元の時数に追加して授業を行います。

これからも「子ども達の安全・健康を最優先に考え、子ども達のためにで きる限りの教育活動を平常どおりにして、そして、きめ細かに指導に当たっ ていきます。」ので、ご理解・ご協力をよろしくお願いします。

